

令和6年度 中野市立高社中学校グランドデザイン



学校教育目標 **思いを**

「**聴こう**」 ○ 高社山のように高く、広く、深い思いと豊かな心を持って『聴こう』

「**語ろう**」 ○ 豊かな表現で真実を伝え『語ろう』

「**創ろう**」 ○ 支え合い磨き合いながら、自ら新しいものを『創ろう』

合言葉は「歌声」「いのち」「学び合い」

【**豊かな心**】めざす生徒の姿

互いの思いに寄り添い・認め・折り合う生徒

重点活動1 「**歌声**を響かせよう！」

- 日常的な心温かいあいさつ・対話・関係づくり
- 個の役割と協働を通して感謝の心の涵養
- 仲間と歌声を響き合わせることで、心を通じ合わせる

【**健やかな体**】めざす生徒の姿

互いの安全・健康・命を守る生徒

重点活動2 「**いのち**を輝かせよう！」

- 睡眠・栄養・運動を意識したいのち輝く自分づくり
- 安全・安心な生活環境づくり
- 体験的な防災・救命活動を通して、いのちを守る意識を高める

【**資質・能力の育成**】めざす生徒の姿

互いに支え・自分たちの可能性に挑戦する生徒

重点活動3 「**学び合い**を広げよう！」

- 自らの問いを持ち、聴き合える関係づくり
- 困り感を共有し、共に解決の道を探る・相互支援・協働的な学び
- 学び合いを積み重ねて、仲間と共に課題を乗り越える

【生徒の実態】

【**豊かな心**】

- 心を通じ合わせる合唱を創り上げたいと願う生徒が多い。

【**健やかな体**】

- 健康でたくましく前向きに生活したいと願う生徒が多い。

【**資質・能力の育成**】

- わかりたい、できるようになりたいと考える生徒が多い。

【生徒の成長を支える教師の姿勢】

- 子どもの命と安全を守り、夢や可能性を育む
専門性を磨き、人間力を高めるために学び続ける(使命・任務)
- 「学び合い」が生まれる学習状況づくり
- 「主体性」を引き出し「生徒たちに任せる」「見届ける」
- 「自問する教師」(自問清掃の実践)
- いじめや差別を許さない人権感覚を磨く日常の意識(言葉・行動)

【社会の未来を支えるために身につけたい力】

- 非認知能力
(人間性・学びに向かう力)
 - ★ 目標の達成 忍耐力・自己抑制・意欲
 - ★ 他者との協働 社交性・敬意・思いやり
 - ★ 情動の制御 自尊心・楽観性・自信
- 認知能力
(知識・技能、思考力・判断力・表現力)
 - ★ 知識、多様な価値観を知る
 - ★ 聴く・話す・書く・読む・計算・ICT 技能
 - ★ 問を持つ・考える・推測する・整理する
まとめる・発表する

【どのような活動を通して】

- 自己を見つめ
 - ★ 自問清掃 ★ 自問・生活ノート
 - ★ 健康 ★ 食育 ★ キャリア教育
- 仲間と共に学び
 - ★ 合唱 ★ 救命・防災 ★ 学び合い
 - ★ 人権教育 ★ 生徒会 ★ 学校行事
- 自分なりの工夫と挑戦
 - ★ 朝活や家庭学習のセルフマネジメント
- 自らの問いを立て追究
 - ★ 探究的な学び(情報収集、整理・分析、まとめ・表現)

【何ができるようになるか】

- 自分のあり方を問い続ける
- 自分の感情や行動をコントロールする。
- 目的や目標の実現に向けて粘り強く取り組んだり、よりよく工夫したりする。
- 自分の困り感を仲間と相談したり、仲間の困り感を理解したりしながら課題を解決する。
- 多様な価値観を理解し、折り合いをつけながら協働の道を探る。
- 学習したことや体験したことを次の学習と関連付けたり、応用したりする。

【実践するため組織連携】

- 校内指導体制の確認(報連相)と実践・改善
- 開かれた学級・学年づくり
- 全校職員が関わり全校生徒を見守る体制作り
- 家庭や地域との情報共有・連携・協働の強化
- 学校研究(学び合い)・研修(見合う授業・ICT・自問・OJT)の充実
- 義務教育9年間を見通した小中連携体制の構築

【安全・安心な学校づくり】

- ◆ 安全な日常を守る管理体制(確実な出欠確認・施錠)
- ◆ 職員、生徒共に行う学校の安全点検
- ◆ 命を守る危機対応(防犯・救命・避難・引き渡し訓練)
- ◆ 自分で判断し適切に行動できる生徒の育成
- ◆ 互いを認め安心して生活できる関係(教育相談)

【開かれた学校づくり】

- 地域人材、教材を生かした総合的な学習の時間
- 地域のご協力による登校見守り・資源回収の実施
- 公民館との連携による作品展示や文化交流
- 地域教材を活かした食育
- 他校と地域クラブの連携による部活動地域移行